

学校週 5 日制が完全実施されたら

【教師の 3 人に 2 人が、体育祭や文化祭、家庭訪問や個人面談、学活や道徳は「減らせない」と考える一方、教科の授業時数は「減ら

してもよい」または「減らすのもいたしかたない」と考えている。】

Q3. 学校 5 日制が将来的に完全実施になった場合、現在より減らすことができると思うのは何ですか。A～F のそれぞれについて当てはまる番号に○をつけてください。

学校週 5 日制が完全実施された場合、これまでよりもさらに時間の使い方を効率よくしたり、これまで行っていた活動のいくつかをやめたりする必要がある。特に後者に限って、現在より減らすことができると思うものは何かをたずねたところ、図 1-11 のような結果が得られた。

体育祭や文化祭をなくすことへの抵抗感はかなり高く、62.4% が「減らせない」と回答している。その他の学校行事は 22.0% が「減らせない」と回答したにとどまり、「減らしてもよい」と「減らすのもいたしかたない」とを合わせると 75.0% にも上る。具体的に削減対象として挙げられた学校行事は、「マラソン大会」「水泳大会」「球技大会」「遠足」「修学旅行」「移動教室」「家庭訪問」「歓送迎会」などで、その他には、いくつかの学校行事を各年で交互に行うとか、1 年間に複数回行われている行事の回数を減らす、各教科との統合、準備時間の削減などの対応策も挙げられていた。

また、家庭訪問・保護者会・生徒との個人面談は 59.6% が、学活や道徳などは 64.0% が「減らせない」と回答している。

一方、授業についてみると、1 校時あたりの時間を削減することには、50.7% が反対している。ところが教科の授業時数については、「減らしてもよい」と「減らすのもいたしかたない」とを合わせると 63.0% になる。

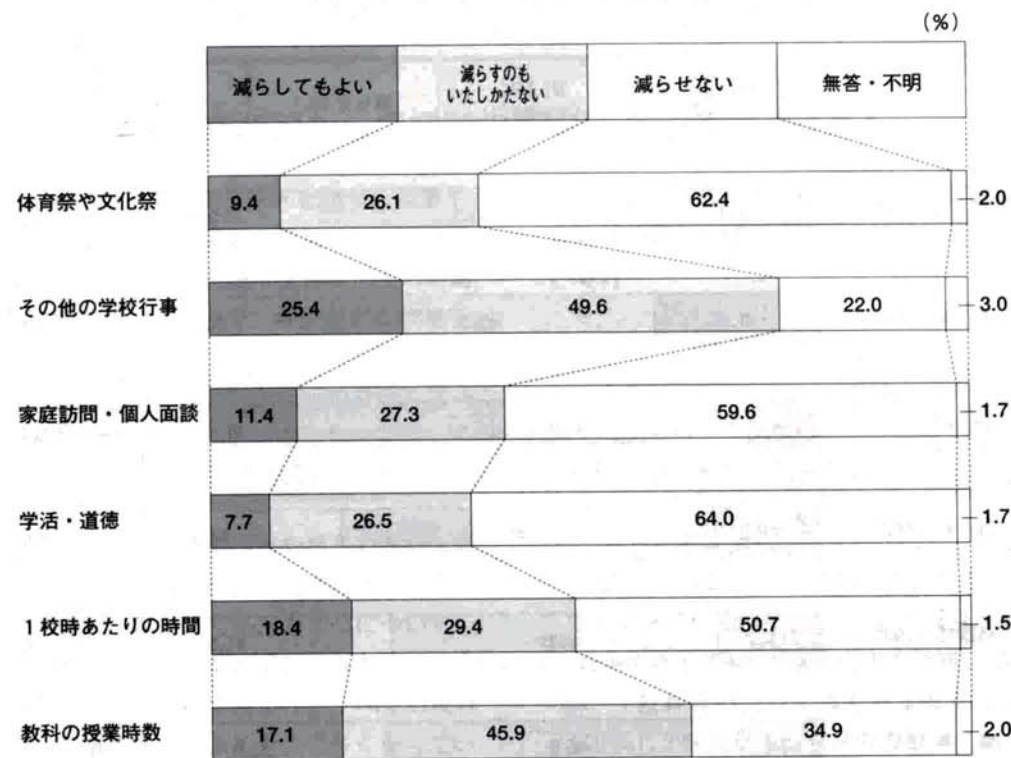
具体的に減らせる教科としては、5 教科を挙げている者も実技教科を挙げている者もあり、特にどの教科かに集中しているということはない。また、各教科の授業時数を「減らしてもよいが、ただし選択教科を増やす」「指導要領の内容が減ればどの教科でも可能」といった意見も出されている。

教科の授業時数については、回答者が自分の担当している教科を想定しながら回答していることも考えられる。そのため、図 1-12 に、担当教科別に教科の授業時数について回答した割合をまとめた。

全体では 34.9% が「減らせない」と回答している（図 1-11）が、全体値よりも「減らせない」が高かった教科は数学、外国語、美術で、いずれも 40% 台に上っている。これらの教科は、週あたりの時間数的にはまだ余裕があるが、内容的にこれ以上減らせないと考えられているのだろう。一方、平均よりもやや低かったのは、保健体育と技術・家庭でいずれも 20% 台である。

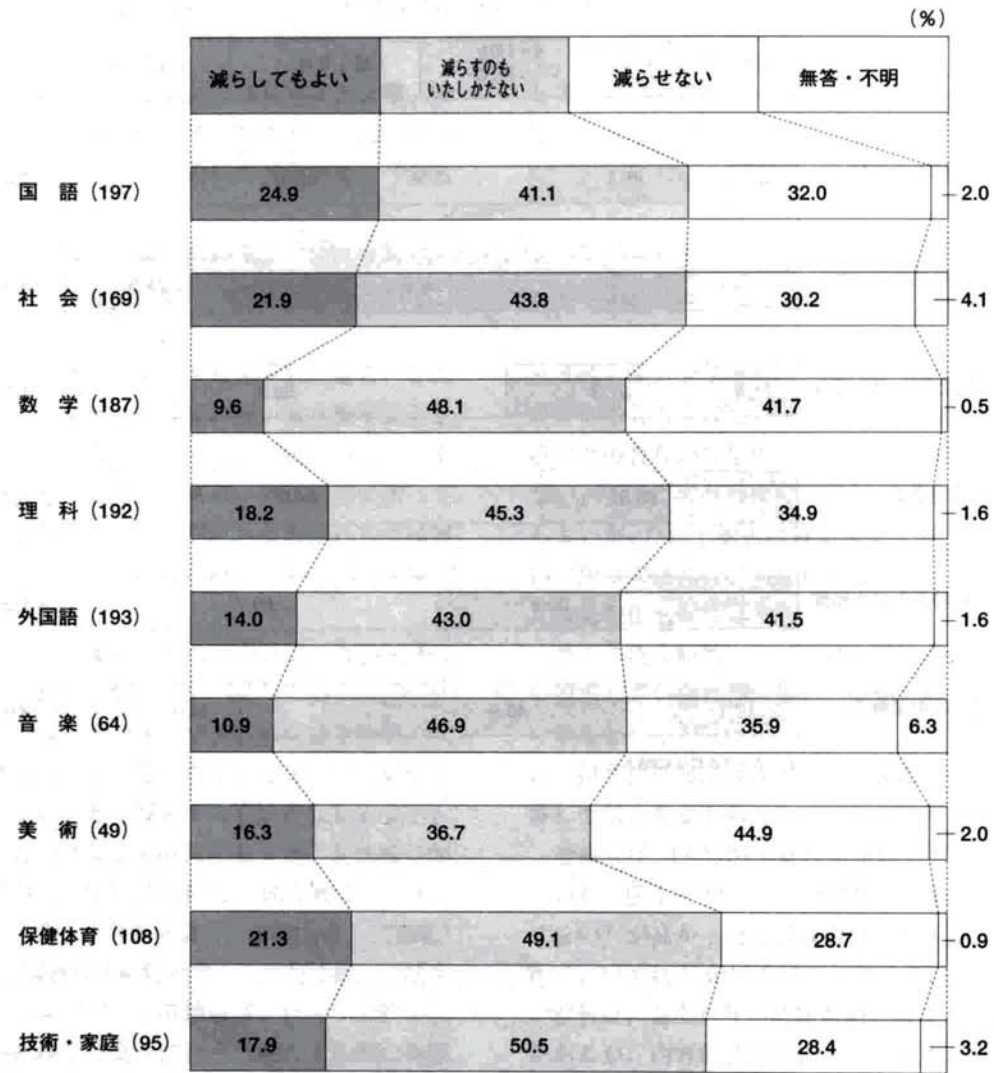
「減らしてもよい」という回答は、全体では 17.1% だが、国語と社会と保健体育が 20% 台とやや高い割合で減らすことを容認している。容認している割合が低かったのが数学の 9.6% と音楽の 10.9% である。特に音楽は、学年によってはすでに週 1 時間になっており、これ以上減らしようがないのが現状だろう。

図 1-11 週 5 日制完全実施で減らせるもの



注) サンプル数は 1368 人。

図1-12 授業時数削減の可不可(教科別)



注) ()内はサンプル数。